

	内 容	留 意 事 項	危険性・有害性の洗い出し	重篤度	可能性の 度合	リスク 評価	優先度	リスク低減措置
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業打合わせ(KY活動)・ 作業位置の確認 作業人員の確認 使用機械、工具の点検 保護具の確認 設計図書に基づき、起点、終点、法高位置の確認 地山、保護具、通路、階段、持込機械の点検 搬入材料の数量と、設計数量の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 安全品質作業指示書による 掛工及び金網設置場所の確認も行う 作業分担、配置の確認 現場故障が無いように始業・終業点検の励行 安全靴・手袋等 地山に亀裂や湧水等の異常が無いか階段、作業通路、親網、安全帯の点検 クレーン車・橋梁点検車で使用するアウトリガー敷板・余分輪留めの有無を事前に取り除き落下防止対策とする。 						<ul style="list-style-type: none"> アウトリガー敷板と歯止めはキャビンなど落下しない場所に格納する。
事前草刈・事前伐採	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> 草刈（規制内）手順書参照 伐採改定後 手順書参照 </div>							
整形・浮石除去	<ul style="list-style-type: none"> 法面の浮石を除去する チェーンソー・ノコギリにて切株を張付け面に沿って処理する 	<ul style="list-style-type: none"> 法面等、急な斜面は足元確認 カルバートボックス上部での作業は落石対策をする 法面整形時は上下作業しない チェーンソーのキックバックに注意 周辺作業員へ声を掛ける 有資格者による草刈作業、チェーンソー作業 	<ul style="list-style-type: none"> 法面上で足元が滑って転倒する ボックス上部から小石が落ち通行者に当たる 浮石が落ちて人に当たる チェーンソーでケガをする 草刈機でケガや飛石事故を発生させる 	2	2	4	II	<ul style="list-style-type: none"> 滑りにくい安全靴の着用 仮設落石防止ネットを設置する 浮き石の早期除去 保護メガネ、スネガードの着用 同上、飛散防止ネットの使用
材料の運搬・搬入	<ul style="list-style-type: none"> 材料置場から施工箇所に資器材の搬入をおこなう トラックにて運搬する 運搬した材料をトラックから施工場所に運ぶ クレーン車にて資器材の搬入をおこなう 	<ul style="list-style-type: none"> トラックの駐車場所はラバーコーン等で明示する 運搬経路の事前打合せ シートの運搬は2人以上で行う クレーン等の作業半径内は十分注意し、有資格者による作業を行う。 ボルト固定し、脱落の可能性がなくなってから、吊具を外す。 吊り荷の下に入らない。介錯ロープにて支持する。 介錯ロープは2m以上の長尺物対しては両端2箇所に設置する。 アウトリガー張り出しの際は目視確認を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般車と接触する シート運搬中に転倒する クレーン災害により作業員が怪我をする。 移動中の吊荷と作業員が接触 吊荷と構造物・車体の間に挟まれる。 アウトリガーとレールに挟まれケガをする。 	5	2	7	IV	<ul style="list-style-type: none"> 保安員の配置 運搬通路の整備 有資格者(クレーン、玉掛け)の配置 旋回範囲内への立ち入り禁止。 吊り荷の下には入らない 介錯ロープを使用する。 アウトリガー張り出し方向に人、物が無いことを確認してから張り出しを行う
落石防止ワイヤー設置(掛工)	<ul style="list-style-type: none"> ロックアンカー打込み箇所を削岩機にて穴あけ セリヤにてロックアンカーを建てむ 	<ul style="list-style-type: none"> 施工範囲を決めて、削岩機で穴あけ 削孔中体勢をととのえ安定した状態で作業する 	<ul style="list-style-type: none"> 法面より転落する 削岩機に巻き込まれる 削岩機にて削孔中、破片が目に入る 姿勢を崩して転倒する ハンマー等で手を打つ 	5	2	7	IV	<ul style="list-style-type: none"> 使用前の親網・ロリップの点検 端正な服装でチャックは閉める 保護具(メガネ、マスク)の使用 ひとり作業しない手元をつける 手元を十分に注意する
落石防止金網設置	<ul style="list-style-type: none"> 金網を所定の長さに接続し、網目の変形ないようにウインチで吊上げるか人力で最上段横ロープか番線に固定させる 金網の重ね幅は、20cmを標準として取付ける 結合コイルを所定量入れる 	<ul style="list-style-type: none"> 荷上げの金網の下に作業員がいない事と、法面上の作業員は、必ず、親網を使用する 金網の重ねが多過ぎないように注意 	<ul style="list-style-type: none"> 吊荷が落下する 	2	2	4	II	<ul style="list-style-type: none"> 玉掛けワイヤーの点検、確実な点検 玉掛け有資格者による作業 吊り荷の下には入らない
落石防止金網アンカー設置	<ul style="list-style-type: none"> アンカーは、土砂部用アンカーを人力または 削岩機にて打込みし設置する アンカー位置は、止金具がワイヤーロープ引伸ばし方向に直角になるように設置する 	<ul style="list-style-type: none"> 削孔中体勢をととのえ安定した状態で作業する 法面に直角になるよう削孔する 	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢を崩して転倒する 材料等の落下で下の作業員に怪我をさせる 削孔スライムが目、口に入る ハンマーで手を叩く 	2	2	4	II	<ul style="list-style-type: none"> ひとり作業しない、手元をつける 上下作業の禁止 下部を通行する際合図で声を掛け合い確認 保護メガネ、マスクの使用 手足元確認
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 金網面をブロワー等にて清掃する あまった材料を片付ける 終礼の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 法面等、急な斜面は足元確認 残材の飛散対策を徹底する 責任者による片付け完了の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 法面上で足元が滑って転倒する 残材が道路に飛散する 	2	2	4	II	<ul style="list-style-type: none"> 滑りにくい安全靴の着用 飛散防止ネット・シートの使用

注意事項

- 用地境界の事前確認
- 埋設ケーブルの事前確認
- 落下物災害が考えられる箇所は落下防止ネットを設置
- 一般車最優先で必要に応じ交通監視員を配置
- 無断で民地へ立ち寄らない
- 夏期ハチ注意(殺虫剤の携帯)